

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
楽器レッスン1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	藤崎昌弘・恒枝賢治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>基礎的なピアノまたはギターの演奏を学ぶ。正しいフォーム・メジャースケールを弾くことができるよう学んでいく。3つ以上の和音を弾けることで楽曲制作の基礎能力を構築する。スケールごとに運指が異なる事を理解し、正しい運指で弾くことができるよう学ぶ。ポップスの譜面ではコードネーム表記の演奏が主体となっており、譜面の攻略も合わせて学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>本科目はグレード対応科目となっており、1年次前期はグレード1～5に準拠して授業が進行する。各種奏法を使用した弾き語り程度のコード演奏や、シンプルな単音弾きができるようになり、オリジナル楽曲制作やパフォーマンスに活かせる技術を習得します。コードの概念を理解し、効果的な使用方法や、作曲家の意図を汲み取ることができる感性を養います。</p>											
授業方法											
<p>和音・スケールを弾く際、正しいフォームで弾けるよう理解して受講する。講師が用意した教材やプリント資料を使用しながら、講師の演奏を手本とし、各自練習を進行する。講師が各々に合ったアドバイスをしながら授業を進行する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	グレード1対応。解説で使用する重要な語句や音程の仕組みを学ぶ。										
第2回	グレード1対応。コードネームとコードの読み方を学ぶ。										
第3回	グレード2対応。リズム譜の読み方と8小節の感覚の感じ方を学ぶ。										

## 楽器レッスン1

第4回	グレード2対応。簡単な和音を3つ以上弾くことを学ぶ。
第5回	グレード2対応。簡単な和音を3つ以上片手で弾くことを学ぶ。
第6回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を学ぶ。
第7回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を学ぶ。
第8回	グレード3対応。調号3つまでの長音階を学ぶ。
第9回	グレード4対応。コードに対応するための運指を体得する。
第10回	グレード4対応。コードに対応するための運指を体得する。
第11回	グレード4対応。コードに対応するための運指を体得する。
第12回	グレード5対応。アルペジオなど各種奏法を学ぶ。
第13回	グレード5対応。アルペジオなど各種奏法を学ぶ。
第14回	グレード5対応。アルペジオなど各種奏法を学ぶ。
第15回	全体のまとめ